

1033. 條件附確率法則ノ定義ニ就テ

伊藤 清 (内閣統計局)

differential テ + *stochastic process* ヲ研究スルニハ、條件附確率法則トイフ概念ガ極メテ重要デアル。コトヲハソノ嚴密ニ定義ノ仕方ヲ述ベテ見ヨウト思フ。條件附確率ニツイテハ P. Lévy⁽¹⁾ノ定義ガアリ、Kolmogoroff⁽²⁾ノ著ニモ載ツテ有ルガ、ソノヲ基礎トシテ條件附確率法則ヲ定義スルコトハサ程無造作ニモ出来ナイト考ヘラレルヲ、ソレニ就テ述ベテ見ヨウト思フ。最初注意スベキコトヲノベル。

I. 確率変數ニ關スル「許サレル」概念構成ニ就テ

(1) P. Lévy: *Théorie de l'addition des variables aleatoires* P. 68

(2) Kolmogoroff: *Grundbegriffe der Wahrscheinlichkeitsrechnung* P. 45

§1. 確率ノ場. Ω ヲ抽象空間トシ, \mathcal{F} ヲ Ω ノ部分集合ノ加法族⁽³⁾トスル. P ヲ集合 (\mathcal{F}) ⁽⁴⁾ノ加法函数⁽⁵⁾デ, 且ツ

$$P(E) \geq 0$$

$$P(\Omega) = 1$$

トスルトキ, P ヲ (Ω, \mathcal{F}) ノ上ノ確率ト呼ブ. E ヲ Ω ノ任意ノ部分集合トスル時.

$$\overline{P}(E) = \sup \{ P(E') ; E' \in \mathcal{F}, E' \subset E \}$$

$$\underline{P}(E) = \inf \{ P(E') ; E' \in \mathcal{F}, E' \supset E \}$$

トシ, $\overline{P}(E) = \underline{P}(E)$ ノトキ, E ヲ P -可測ト云ヒ, コノ共通ノ値ヲ再ビ $P(E)$ ト書クト, P ノ前ノ P ノ拡張ニナツテキル. $\mathcal{G} = \mathcal{F}$, P ヲ結ビツケテ考ヘル時之ヲ確率ノ場ト云フ.

E_1, E_2 ヲ P -可測集合トシ

$$P(E_1 \sim E_2) = 0$$

ノトキ, $E_1 \sim E_2$ ト定義シ, E_1 ト E_2 トハ同等ナリト呼ブ事ニスルト

$$E \sim E$$

$$E_1 \sim E_2 \longrightarrow E_2 \sim E_1$$

$$E_1 \sim E_2, E_2 \sim E_3 \longrightarrow E_1 \sim E_3$$

(3) S. Saks: *Theory of the integral* p. 7

(4) 集合 (\mathcal{F}) トイフ, ハ集合族 \mathcal{F} ニ属スル集合トイフ意ニ同フルコトニスル.

(5) S. Saks: *loc. cit.* p. 8.

がアツテ「 \sim 」ハ一種ノ *equivalence relation* ト考へ得ル。

§2. 確率変数. X ヲ抽象空間トシ、 F_X ヲ X ノ部分集合ノ加法族トスル。今 Ω ノ上ノ殆んど到ル所 $(P)^{(6)}$ ニテ定義セラレタ X ノ上ノ値ヲトル函数 $x(\omega)$ ガアツテ、集合 $(F_X) \in$ ノ原像 $x^{-1}(E)$ ガ常ニ P -可測ナルトキ $x(\omega)$ ガ P -可測ト云ヒ、カノ函数ヲ (Ω, F, P) 上ノ (X, F_X) -値ヲトル確率変数ト云フ。

ニツノ確率変数 x_1, x_2 ガアツテ、 $P(x_1 = x_2) = 1$ ナルトキ、 $x_1 \sim x_2$ トイフコトニスルト、「 \sim 」ハ一種ノ *equivalence relation* ガアル。同等ノ確率変数ハ區別シテイ方が妥當ガアル。ソレ故確率変数ノ属性トシテハ同等ノ確率変数ニハ同ジ結果ヲ出ヘルモノノミガ「許サレル」。

$x^{-1}(E)$ 即チ $E \{ \omega; x(\omega) \in E \}$ ヲ表ハス、 $(x \in E)$ ナル命題ソノ ε ヲ以テスルコトガ *conventional case* ト一致スル。 $E \in F_X$ ノトキ $\{x \in E\}$ ハ「許サレル」概念ガアル。 $x \sim x'$ ナラバ $\{x \in E\} \sim \{x' \in E\}$ ナル故。又 $P(x \in E) \in$ 亦「許サレル」概念ガアル。

§3. 確率変数ノ函数. x ヲ (Ω, F, P) 上ノ (X, F_X) -値ヲトル確率変数トシ、 f ヲ (X, F_X, P_x) 上ノ殆んど到ル所 (P_x) ヲ定義セラレタ (Y, F_Y) -値ヲトル

(6) 「 P -測度0ノ例外ヲ除イテ」トイフコトヲ「殆んど到ル所 $(P) = \tau$ 」トイフ。

P_{oc} -可測+函数トスル。 $f(x)$ ハ $(\mathcal{S}, \mathcal{F}, P)$ 上ノ確率変数ト考ヘルコトが出来ルガ、 $x \sim x' (P)^{(17)}$, $f \sim f' (P_{oc})$ + ラバ $f(x) \sim f'(x')$ + ル故、 $f(x)$ ハ「許サレル」概念デアイル。

§4. 確率変数ノ結合。 A ヲ可附番集合トシ、

$x_\alpha (\alpha \in A)$ ヲ夫々 $(X_\alpha, \mathcal{F}_\alpha)$ -値ヲトル確率変数トスル。

$\alpha \in A$ ニ對スル X_α ノ積空間ヲ X トシ、 X ノ端集合ヲ含ム最小ノ加法族ヲ \mathcal{F}_X トスルト、 $x \equiv (x_\alpha; \alpha \in A)$ ハ (X, \mathcal{F}_X) -値ヲトル確率変数ト考ヘルコトが出来ル。 蓋シ x_α

ノ定義サレテ ω ノ集合ヲ N_α トシ、 $\bigcup_{\alpha \in A} N_\alpha = N$ トスレバ

$$P(N) \leq \sum_{\alpha \in A} P(N_\alpha) = 0$$

(A ガ可附番集合+ルコトニ注意!!)

故ニ x ハ $\mathcal{S} - N$ ヲ即チ \mathcal{S} ノ上ノ殆んど到ル所 (P) ニテ定義サレテキル。 又 \mathcal{F}_X ノ定義ニヨリ、 x ノ P -可測性ハ明ラカデアイル。 又 $x_\alpha \sim x'_\alpha (\alpha \in A)$ + ラバ $(x_\alpha; \alpha \in A) \sim (x'_\alpha; \alpha \in A)$ + ル故、 $x_\alpha (\alpha \in A)$ リテ $(x_\alpha; \alpha \in A)$ ノ作ルコトハ「許サレル」概念構成デアイル。 コレヲ $x_\alpha (\alpha \in A)$ ノ結合ト呼ブコトニスル。 結合ヲ作ル場合、 A ガ可附番+ルコトガ決定的+役割ヲ演ジテ居ル。

後ニ非可附番個ノ確率変数ノ結合ニ考ヘルガ、 x ノ場合特別ノ條件ガ必要デアイル。

§5. 確率変数ノ極限值

(17) $x \sim x'$ ハ $P = 0$ ニテ $x \sim x'$ ノ意。

X_1, X_2, \dots 及び X が 或る距離空間, 値ヲトル確率
変数トスル時

$$\bigwedge_{k=1}^{\infty} \bigcup_{m=1}^{\infty} \bigwedge_{n=m}^{\infty} \left\{ P(X_n - X) < \frac{1}{k} \right\} \text{ハ } P\text{-可測デアル。}$$

∨ 確率が1トスル時 =

" X_1, X_2, \dots ハ X = 殆ンド 確実 = 収斂スルトイヒ

$$X = \lim_{n \rightarrow \infty} X_n = \text{ヲ表ハス}"$$

$X_1 \sim X'_1, X_2 \sim X'_2, \dots, X \sim X'$ デアルトキ,

$$X = \lim_{n \rightarrow \infty} X_n \text{ + ラバ } X' = \lim_{n \rightarrow \infty} X'_n, \text{ 又}$$

$$P \left\{ \bigwedge_{k=1}^{\infty} \bigvee_{m=1}^{\infty} \bigwedge_{p, q > m} \left(P(X_p - X_q) < \frac{1}{k} \right) \right\} = 1$$

トスルトキ X_1, X_2, \dots ヲ 殆ンド 確実 = 収斂スル 確率変数

ト云フ, $X_1 \sim X'_1, X_2 \sim X'_2, \dots$ + ラバ X'_1, X'_2, \dots

モ亦 殆ンド 確実 = 収斂スル 変数列ト + ヲ。而シテコノ
時

$$\lim X_n = X$$

+ ル X が 必ズ 存在シ、而シテ equivalence ヲ 除イテ
一意的ニ定マシ。殆ンド 確実 = 収斂スル 変数列, 極限変数
モ亦 「新ナレル」 概念デアリ。

任意ノ正数 ϵ = 対シテ

$$P \left\{ P(X_n, X) > \epsilon \right\} \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty)$$

ト時, X_n ハ X = 確率収斂スルト云ヒ,

$$X = P\text{-}\lim X_n$$

ヲ表ハスコト=スル。 $x_n \sim x'_n (n=1, 2, \dots)$ $x \sim x'$ デ $P\text{-}\lim x_n = x$ 十 \forall $P\text{-}\lim x'_n = x'$

次=

$$P\{P(x_m, x_n) > \varepsilon\} \rightarrow 0 \quad (m, n \rightarrow \infty)$$

十ルトキ, $\{x_n\}$ ヲ確率収斂スル変数列トイフ。コノトキ $P\text{-}\lim x_n$ 十ル x ハ必ず存在シ且ツ equivalence ヲ除イテ一意的=定マル。

「確率収斂スルトイフ事」, 「確率収斂スル変数列ノ極限值」ハイツレモ「許サレル」概念デアル。

収斂, 極限值, 定義, ハ経数カ有理数ノ場合=モ十サレ得ル。例ハバ有理数 γ = 依存スル。確率変数 x_r ガアリ, S ヲ任意ノ実数トスルトキ $\gamma \rightarrow S$ = 対シテ x_r ガ収斂スルトイフノハ。

$$P\left(\bigwedge_{k=1}^{\infty} \bigvee_{n=1}^{\infty} \bigwedge_{\substack{|r-s| < \frac{1}{n} \\ |r'-s| < \frac{1}{n}}} \left(P(x_r, x_{r'}) < \frac{1}{k}\right)\right) = 1$$

トイフコトデアル。之ガ「許サレル」概念タル事ハ明カデア
ル。(有理数ガ可附番集合十ル事=注意!!)

II. 条件附確率法則

§ I. 条件附確率 x ヲ (X, F_x) - 値ヲトル確率変数トシ, $A \in \mathcal{G}$, P -可測集合トスル。 $E \in P_{\mathcal{G}}$ -可測十任意ノ集合トスル時

$$P\{(x \in E), A\}$$

ハ E / 加法函数ヲ

$$0 \leq P\{(x \in E) \cdot A\} \leq P\{x \in E\} = P_x(E)$$

故ニ X / 上 / 上 / 殆ンド到ル所 (P_x) ヲ定義セラルタ点函数
 $\psi(\lambda)$ ガアツテ

$$P\{(x \in E) \cdot A\} = \int_E \psi(\lambda) P_x(d\lambda)$$

今 $\psi(x)$ + ル「確率変数」ノ函数ヲ考ヘ、之ヲ $P(A/x)$
 $=$ テ表ハシ、 x / 定マツタトキ A / 成立スル条件付確
率云フ。

$$x \sim x' \quad A \sim A'$$

ナラバ $P(A/x) \sim P(A'/x')$ + ル故、之ハ「許サレル」
概念デアリ。

§2. separable + 加法族

Ω / 上 / 集合 / 加法族 F / 部分集合 G ヲ含ム最小ノ
加法族 $B(G)$ ガ F ト一致スルトキ、 G ヲ F / base ト云フ
事ニスル。 F ガ enumerable base ヲモツトキ、 F ヲ
separable ト云フ。

今 0 / 上 / 上 / 有理数 $r =$ 依存スル F / 元 E_r ガアツ
テ、 $\mathcal{F} = \{E_r\}$ / F / base デアリ、且ツ

(1) E_r / $r =$ 同シテ單調非減少

(2) $\lim_{r \rightarrow 1-} E_r = \Omega$ $\lim_{r \rightarrow +0} E_r = \emptyset$ (\emptyset / 空集合ヲ表)
ハス

(3) $\lim_{s \rightarrow r+} E_s = E_r$

+ ルトキ、 $\{E_r\}$ ヲ normal base トイフ。 v. here-